

平成18年1月26日発行
発行 兵庫県香美町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0796-36-1111
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>

12月定例会

か み

議 会 だ よ り

—CONTENTS—

- 特別職のボーナスは（11月臨時議会） 2
- 住民の声 届くか（一般質問） 6
- この人 ここにあり（小代区） 14



町長・助役・議員の

冬のボーナス増額はダメ!!

11月28日の臨時議会に「医療器具の購入契約」と「町長・助役・議員の冬のボーナス増額」「職員の給与減額・諸手当見直し」の提案がありました。

「議員の冬のボーナス増額」の案に質疑が集中する中で休憩を入れて打開策が示されましたが不調に終わり、再開後、質疑討論を経て賛成少数で提案を否決しました。

「町長・助役の冬のボーナス増額」案も賛成少数で否決しましたが、その他の「医療器具購入契約」「人事院勧告の職員の給与減額・諸手当見直し」の提案は、賛成多数で可決しました。

議員の冬のボーナス増額

提案に質疑集中

質疑

問 提案の0・05ヶ月を引き上げると現行との差額は

答 議員全員で24万円です。

問 厳しい行財政改革を進める一方でこの提案であり、住民感情とズレがある。

特別職、議員は自ら襟を正して財政難に取り組む姿勢を示すべきではないか

答 現時点では人事院勧告に準じて対応し、行革委員会の人件費を含む全体的な方向を踏まえて18年度から見直しに取組みます。

反対討論

厳しい行財政改革の中で「命や住民の安心を忘れてはいないか」という声がある。

また、特別職、議員に対する人事院勧告ではない。

特別職、議員の報酬等は「報酬審議会協議」によるべきである。

何れにしても住民の理解を得ることができない。

議決権を持つ議会として反対の意思を住民に示すべきである。

質疑

問 4月にさかのぼって減額し、12月の期末手当で差額を調整するには、「不利益は不遡及、利益は遡及」の原則から外れるのではないか

答 人事院勧告は、4月に給与等、官人格差を調査した結果であり、ご指摘の遡及にはあたりません。

問 都市と地方の地域給・物価格差を踏まえた勧告と考えるか

答 妥当に機能しているか

職員の給与減額・諸手当見直しは人事院の勧告どおり

疑問であり、見直しが必要である。18年度財政の問題と合わせて全体の中で考える。

問 給与を引き下げることと職員の意欲減退の関係をどう考えるか

人事院の成り立ち、勧告を無視するの

答 行政運営は、職員意欲、能力に拠るところが大きいと理解しています。

人事院勧告の尊重と自治運営の両面で判断し、職員理解を得ます。



広さを実感 ■ 町内視察から



豪雪に立ち向かう

旧3町会計を点検

平成16年度決算を認定

9月30日の本会議において決算特別委員会に付託された平成16年度旧3町、各会計決算認定の件は、12月20日、決算審査が終わり、結果が意見書を添えて西川委員長より議会に報告があり、賛成多数で認定しました。

決算特別委員会 審査報告より

問 税の収納について居所不明者はどうしているのか
答 不明になって3年で不能欠損としています。
問 税や手数料等の未収金の回収は本庁中心か
答 本庁と該当の地域局で対応しています。
問 むらおか振興公社に940万円補助して税金を支払っている会計の仕組みは
いかがなものか
答 17年度500万円の補助。上半期の実績に基づいて見直すことになっている。
問 旧美方町のオフトーク通信施設の説明及び状況は
答 NTT回線を使い各家庭に受信スピーカーを置く。588円を電話料金に加えて支払う。4チャンネル放送で役場や団体が放送可能で913件加入しています。

問 旧香住町のシルバー人材センターの内容説明は
答 会員は60歳以上で125人、延べ6,000人が就労、職員賃金は一人分。旧美方郡は4町で法人だが香住は違います。合併は進めていきます。美方郡広域シルバー人材センターと調整中です。



審査意見

1. 町税、国保税、使用料、手数料等の未収金の早期回収について
(1) 回収マニュアル等を整備し、早期回収に努められたい。
2. (株)むらおか振興公社への委託料について
(1) 町と公社の会計の仕組みについて検討されたい。
3. 旧美方町のアンテナショップの活用について検討されたい。

決算特別委員会
委員長 西川 誠一
副委員長 西川 秀美
委員 西川 利秋
森 範明
吉田 政明
川端 晶一
後垣 幸夫
長瀬 増夫
吉田 伸一
西村 伸一

貫田残土処分地条例 一部改正案は委員会に付託

現在の貫田残土処分地に加えて管理直営で新たに嶋地残土処分地を設置するための貫田残土処分地条例の一部改正案は、産業建設常任委員会で閉会中に審査することになりました。

質疑
問 貫田処分地に対して嶋地処分地の使用料は、1立方あたり300円高くなっているが何故か
答 使用料ですべての経費を賄うことが基本になっており、処理規模が小さくて経費は同額必要なことから差額が生じています。
問 貫田、嶋地の所有状況及び跡地利用について考えはあるか
答 貫田は取得しており道

路改良等にも活用が可能で、嶋地は借地。3年間で返すことにしています。
問 委託の条項を外して直営となっているが、一部事務を商工会に委託するのであれば、委託条項は残すべきではないか
答 包括して直営で行うのが必要ないと考えています。
問 下水道工事関係で私有地に残土を入れた経緯があるが、今後も可能か
また、その際の窓口はど

うなるか
答 環境に配慮した処理と併せて残土の有効活用もケースバイケースで対応します。窓口は整理します。
問 北但をカバーする目的で建設されたクリエイトとの関連はどうなるか
答 クリエイトの当初計画の遅れには、町にも責任があり、目的を逸脱しない範囲内で並行して運用を図ります。
問 過去に折衝した地区へ

の説明並びに嶋地経路関係の合意は得ているか
答 アプローチしたところには結果を説明しています。また、関係区の合意は得なければならぬと考えています。

議員提案
議員提案どおり、関係区の合意形成が不十分なことを勘案し、産業建設常任委員会に審査を付託しました。



特別職報酬審議会条例案を 賛成全員で可決しました

指定管理者関連の3条例は 慎重に審査することに

質疑
問 委員の選任にあたって重複や固定化傾向はないか
また、女性や若い世代を選任する考えはないか
答 委員の選任は、町行政全般に識見を要する性質から産業・公共団体、学識経験者を基本にしており、重複等は結果と考えます。
女性の選任は考えていますし、若い世代の選任も再検討します。

問 自身の事柄に係る審議会運営を町長が定めることに疑問がある。規則で定める必要があるのではないか
また、白紙委任が原則ではないか
答 旧町の条例に準じたものであり、規則等は考えていません。白紙委任が原則ではありませんが、今回は、特別的に財政事情等を勘案し考えを示して審査をお願いしたいと考えています。

問 審査会の公明性確保の見地から公開にする考えはないか
また、住民の意見反映についての考えはどうか
答 発言者を伏せて内容が公開したいと考えていますが、自由な発言の担保が必要であり、委員会に相談します。また、住民の意見反映は議会だけでいいものと考えています。

地方自治法の改正・指定管理者制度の導入により、行政事務（の仕事）が、従来の委託から大幅に規制緩和されることとなります。
不備個所の検証など慎重な扱いの見地から関連する3条例案は、議長を除く全議員で構成する特別委員会に付託して慎重審査することにしました。

補正予算

一般会計・6特別会計原案可決

一般会計

平成17年度一般会計補正予算(第4号)は4,986万7千円を追加し総額165億8,236万8千円とする補正予算を全員賛成で可決しました。

主な内容として

特別養護老人ホーム整備関係事業の入札減などによる民生費1億124万2千円の減額、中山間地域総合整備事業、環境対策育林事業、有機センター運営対策事業、魚類残さい等処理場施設改修事業など農林水産業費5,006万円、急傾斜地崩壊対策事業、冬期道路維持に係る除雪費として土木費5,954万7千円の増額です。

○特別養護老人ホーム整備事業
平成17年度～18年度債務負担額
6億1,897万4千円

特別会計

国保

○国保会計(第2号)

療養費の保険者負担金の増
317万9千円の増額補正
総額23億5,899万6千円

○兎塚診療所

一般管理費48万9千円減額
予備費に48万9千円増額補正

○川会、原診療所

一般管理費50万6千円減額
予備費に50万6千円増額補正

○小代診療所

一般管理費13万6千円増額
予備費を13万6千円減額補正

○兎塚、川会歯科診療所

一般管理費1,122万4千円増額
予備費172万4千円減額

簡易水道

簡易水道管理費97万3千円増額
予備費97万3千円減額
総額4億2,188万5千円

下水道

総務費(事業一般管理費)4,133万4千円減額
事業費(施設整備費)45,035千円増額
公債費(一時借入金利息)140万円増額
総額32億9,303万3千円

介護保険

一般管理費、介護保険システム改修委託料
一般管理費1,933万4千円増額
総額17億5,930万8千円

国民宿舎

国民宿舎費(修繕、工事委託料)326万2千円増額
総額6,038万2千円

門真市村岡自然ふる里村

ふる里村費37万7千円減額
予備費37万7千円増額
総額1億794万6千円



町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月8日から9日まで14名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



私達も利用しやすい施設に

高齢化が進む中で新庁舎の進入部や内部施設の構造



小林 利明 議員

並びに業務利用の対応などハード、ソフトの両面でバリアフリー対応が必要だ。一般トイレや専用駐車場からの進入部のバリアフリー、職員の対応など更に検討が必要と考える。福祉関係団体とヒアリングを詰めて善処される考えはないか

町長 「福祉のまちづくり」の観点から全面的にバリアフリー対応を進めています。車椅子で利用できるトイレや滑りにくいタイル仕様、点字ブロック、点字案内板の設置、インターホンに対する職員の対応などハード、ソフトの両面で

配慮しています。また、福祉関係者の目線で見ていただき可能な限り、極力対応するよう指示をいただきましたが、不足する部分は、社会福祉協議会や関係者のご意見をお聞きして、早急に補完したいと考えています。

新庁舎のバリアフリー対応の充実を関係者のご意見で早期に補完したい



犬猿の仲



長野県大田市では猿対策として、電気柵の設置、電波発信器の装置、花火での追い払い、猿追い払い職員の設置、更に捕獲、捕殺事業にも取り組んでいるが、

農産物被害は年々拡大してきた。こうした経過から猿対策の新たな取り組みとして始まったがモンキードッグ事業である。この事業は既に飼われている犬を訓練施設で、人に危害を加えない、猿を見たら、あるいはにおいに反応して追い払う。追い払いをしたら戻ってくる。こうした訓練をして猿を追い払おうとする事業である。今ではこの訓練をし

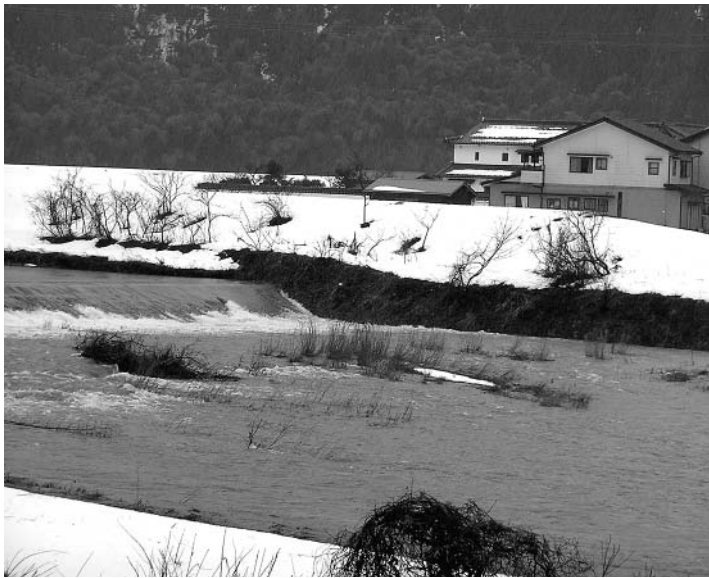
町長 早く大田市の実態を把握して、小代地域の中でどういう形で犬を対象にし、どうするか、どこに訓練機関があるかなど調査、検討して18年度に実行できるように進めてまいります。



森 利秋 議員

た犬のいる周辺では猿が出なくなったと効果があらわれている。香美町もこの事業に取り組むべきである。町長の所見を問う

猿対策―犬で猿を追い払え18年度実行できるように進める



亀居堰への放水は、合意済みか!?

- ① 香住谷川トンネル放水案の地元関係地域の反応は
- ② 遊水区域で庁舎外の建設開発は不可能と考えるか
- ③ 1, 200t貯水で対応



柴田幸一郎 議員

台風時の御城台の治水対策について問う

御城台の治水対策は大丈夫か 地元区と話し合い万全を期したい

- だが溢れた水の対策は
 - ④ 駅前区との協議は
 - ⑤ 森堤防は決壊しないと考えてよいか
 - ⑥ 下水道は森谷・香住谷川の水は亀居堰へ放水するが住民の合意が得られるか
 - ⑦ 日本海へ直接流す研究をすべきと考えるか
- 町長** ①関係区共通の土俵で取り組み対策を県に要望します。
- ② 開発の際は遊水機能を条件とします。
 - ③ 話し合いでその対策を取ります。
 - ④ 貯水機能等は説明、とれる方法は完全実施する旨協議。
 - ⑤ 50年に一回の洪水に対応できる堤防です。
 - ⑥ 理解されたと思います。
 - ⑦ 色々な方法を考えましたがトンネル放水案が一番妥当と考えました。



賑わった松葉がに初せりまつり（平成17年11月6日 柴山港周辺）



寺川 秀志 議員

本年3月に開通した一般国道178号香住道路は周

香住道路開通による影響の把握は 当面は状況把握に努め対応します

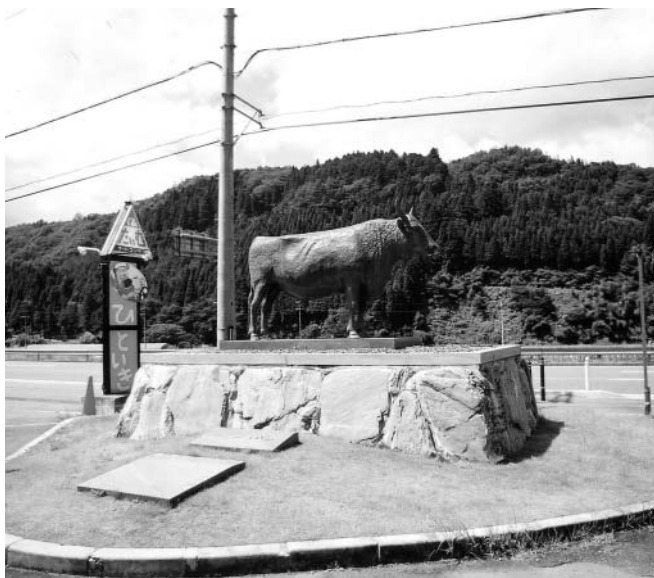
辺地域への移動時間も短縮され、期待通りの交通の要衝として役目を果たしている。その反面、旧国道178号線の交通量は半減し、今後沿線の地域に及ぼす経済的な悪影響が懸念される場所である。そうした中、徐々ではあるが影響が出始

めており、沿線の施設の利用状況も踏まえ、現在の状況をどう捉え、今後どのような対策を講じるか

町長 観光への影響は強く懸念しております。

佐津・柴山を通るべき人が、直通することを防ぐた

めに奥佐津インター付近に佐津・柴山方面へ行く表示をしました。また宿泊された方が香住道路に直行されると、土産物店に影響が出ます。矢田橋を渡ってもらうため、付近に「香住かに通る、香住漁港・柴山港」と表示し海岸通りに誘導するようにしました。これだけでは十分ではありませんが、当面の対応をしました。



守ろう名牛の里 安美土井顕彰碑



除雪確保は！

『美しい山・川・海、人が躍動する交流と共生の町』



白岩安喜夫 議員

和牛振興を町の基幹産業へ 新町発展の基本待ったなしで取り組む

としての香美町、山間地での農業は、社会情勢の激変で前途多難である。さいわい日本のブランド食材但馬牛は香美町が原産地である。今回、雌牛の原々種の存続、但馬ビーフの販売加工、糞尿処理による堆肥活用について問う

町長 先人が築き、農業の核として畜産振興は本町の緊急課題であります。蔓牛の保護継承に県も取組みました。町内の美方和牛振興公社活用の提言、全く同感です。関係者の意見を参考に前向きに検討します。また、増頭推進のポイント

肉用雌牛貸付制度も小代区の制度を統合し利活用を担当課に指示しています。2点目の牛肉の販売加工ですが、松葉ガニと並ぶ観光資源と位置付け、加工特産物育成を含め民間活力に期待しています。3点目糞尿処理による堆肥利用は町内の2施設の現状、良質堆肥生産工程など18年度に検討、19年度実行します。



岡田 公男 議員

18年度予算、事業、財政健全化は 抜本的な予算編成を

18年度予算、事業実施はどのように財政の健全化に取り組むのか。事業の不急・断により行っているのか、行おうとしているのか基本

町長 7億の最小限度の蓄え基金の取り崩しをしないという考えのもとに、抜本的な予算編成を行いた

いと考えております。事業は個別に判断、経過を尊重し見直す必要があり、町全体で見ると町民生活の面から必要性の高いところを、集落内の道路が狭くて車も入れない、通れない地域は優先的に取り組んでいきたいと思えます。緊急性、必要性を判断して極端に遅れている地域を早く整備していくことが必要ではないかと考えています。



私達は、どうなる？

住民は、来年春から本格的に改正介護保険制度導入に伴い様々な不安を持っている。保険者はあくまでも香美町であり、介護保険によるサービスシステムを住



吉田 範明 議員

住民は、来年春から本格的に改正介護保険制度導入に伴い様々な不安を持っている。保険者はあくまでも香美町であり、介護保険によるサービスシステムを住

町長 制度の対象にならない人を増やし、なる人を少なくすることを第一に進めていきます。具体的には、高齢者の外出支援と生きがい活動支援の場を多く作っていき、民間の方々

民本位に作り上げていかなければならない責務がある。そこで、導入に際しての基本的な考え、保険料はどうなる

に受け皿として活動いただき、町と住民が一体となつて取り組んでいきます。保険料は、平成18年度から3年間は、各区の基金の額を考慮して不均一賦課にしていくつもりです。

現時点では、一ヶ月香住区3、404円、村岡区3910円、小代区3、781円と試算しています。

4月からの介護保険料はどうなる 貯金の関係で三区違う料金設定で



女性の登用を！ —人権講演会から—

男女共同参画社会の基本法が平成11年6月に施行。



長瀬 幸夫 議員

基本理念として男女の人権尊重、社会における制度または慣行について配慮、政策等立案及び決定の共同参画、家庭生活における活動と他の活動の両立、国際的協調の5つの柱である。香美町はどのような状況で今後どのように取り組むのか、

人事異動を目前に町長の考えは、教育長には教育関係の取組みを伺いたい

町長 行動計画策定委員会15名(女性7名)に委嘱を進めており、第一回を1月に考えています。各種委員会・審議会の委員に30

教育長 すべての人が違いを認め合いながら対等の立場を重んじる人権教育、参画・自立の意識を育てる教育の推進など指導者の意識を高めるように努めます。

男女共同参画にどう取り組むのか 審議会等に30%の登用を目標に

%の女性を目標と考えています。職員にも十分認識を持たせる教育訓練も考えています。



遊び学べる公園を

が、自然の中で自由奔放に
 学校での教育も大事です



上田 勝幸 議員

各世代が遊び、学べる公園を 大切なことなので検討します

遊び学ぶ。それが香美町の
 子供たちにとっては何ごと
 にも勝って大切である。都
 会の子供とは一味も二味も
 違う田舎の子らしい子供を
 育てるには自然を相手に、
 各世代が交流し、遊び学べ
 る場としての公園が果たす
 機能には計り知れない程大

きなものがあると考えます
 町としてそんな公園を作る
 考えはないか

町長 たくましい子供、
 豊かな感性を持った子供を
 育てていくことは、この地
 域に住む大人の責任である
 と思いますし、特に行政に

とって責任があると考えま
 す。公園そのものは各区に
 沢山ありますが、各世代間
 で利用とまではいきません
 香住区ではルネッサンス地
 を利用して多目的公園並び
 に児童公園的なものを考え
 ています。村岡区、小代
 区でも地域局を中心に、色々
 と検討させ、財政の許す限
 り公園の整備充実には努力
 する所存です。



答申は、いつでののか！



西坂 秀美 議員

行財政改革検討委員会の
 答申は、行財政改革大綱の
 策定予定はいつか。中間報
 告では7億の基金は堅持と
 いう。約6億の財源不足で
 事業も出来ない状況。この

危機的状況を町民にどう説
 明するのか。まず特別職も
 職員も給与削減をして、そ
 の効果はいくらか。だから
 補助金も削減させて欲しい。
 事業も先送りさせて欲しい。
 そう言わないと町民は納得
 しない。町長は、いつから
 何%削減する考えか

町長 大綱は19年度に
 は対応できます。今はお答
 えできませんが町長の給与

は大幅な引き下げをしたい
 と思います。1月中頃まで
 に18年度に向けての行革大
 綱を決め3区の主要な地域
 のリーダーに説明します。
 職員の人件費の切り下げも
 含めて対応しないと、特定
 部分だけでは解決できません。
 行政と住民のあり方に
 観点をおき、それぞれの分
 野に大幅に切り込み、重大
 な決意で臨みたいと考えて
 います。

どう取り組む、行財政改革 それぞれの分野に大幅に切り込む



美しい棚田風景 作目栽培の基準は、まず土づくりから

日本の棚田100選 村岡町和佐父西ヶ岡

我が町の農業は小規模で兼業農家がほとんどであり、農業の総生産高額は米と牛が主である。稲作においては、特に山間棚田が極めて多い条件不利地域である。



西村 伸一 議員

また畜産においても他産地の技術改良が進んできて和牛も但馬牛の名にあぐらをかいている状況ではない。将来米価、牛価の上昇の見通しがない。生産コストを下げる事が重要と思うが町長の今後の農業振興策を問う

【町長】 畜産と稲作と農業との連携の中で対策を講じて双方がよくなるシステムの発展の方向だと思います。

農業振興を図る町の施策は 堆肥を有効に活用した農業の展開

テムがないかと思えます。要は畜産の増頭対策をやるとなれば堆肥が多量に発生します。その堆肥を有効に肥料化をしてその有機肥料を農業に使う。有機肥料で生産をした有機米、有機野菜として消費者へその独自性を訴えてコストに見合うぐらいの価格で消費して頂く対応をするようなシステムが出来るならば町の農業の発展の方向だと思います。



野菜畑に、また出た!!



前垣 憲一 議員

6月の定例会で、猿対策についての一般質問で町長

猿対策について町長の考えは 一段と対応を強化します

の答弁は、「精一杯取り組みます」とのことであった。その努力は認めるとしても、6ヶ月を経過した今日も、被害は減少せず、追い払いは猿対策の解決にはならないことを表している。そこで、現実を十分ふまえて取り組むべきであり、今日も

被害に泣く町民にかわって町長に猿対策に対する決意を伺う

【町長】 猿対策については、一段と対応を強化していく必要があります。捕獲檻も6ヶ所設置しておりますが、その成果はまだ上がりません。工夫を重ね成果を上げる努力と地域局の案も全面的に採用して、可能な限りの対応を取っていくという姿勢で取り組みたいと思っております。とにかく住民の皆さんと同じ目線で、同じ状況で、猿対策は考えるべきだとの決意のもとに、出没状況を十分把握して対応します。



続けたい梨栽培

(1)合併で南北に長い町土になり、農地も拡大した。漁



川端 政明 議員

業振興の観点からも農林業を町の基幹産業として位置付けるべきと考えるが(2)香住の梨栽培には歴史がある。青梨生産では県下の半分は香住だ。町も支援策を講じているが廃園が続く。生産者を元気づけるためにも、小規模でいいから町の

平地栽培団地構想の実現へのスピードアップを求める。今こそ、梨産地維持検討委員会と真剣に話し合うべきと思うが

町長

(1)農業と漁業、農業と観光を活かし、本町の中心的な産業と位置づけ

(2)梨園の保存・保全も含めて、新たな観点からの検討は当然必要だと思っております。生産県下一を維持していくことは香美町のすばらしさの一つの材料にもなると考えています。総合的な対応を大いに進めていきたいと思っております。

梨栽培農家に元気UP策を総合的な対応を大いに進める



安心して長生きしたいな!



山本 賢司 議員

年金、医療、介護と国民の生存権を奪う改悪が続いている。税制が変わられ、六千六百人の内一千百人が住民税非課税から課税へ、老人保健で負担なしで実施されていた施策が介護保険

に組み替えられて一割負担になる。削られた年金から増額された保険料が天引きされる。国や地方の借金のツケを住民に回し、家計の収支バランスを崩させないために、介護保険料、利用料の減免制度を確立することが求められるかどうか

町長

制度改正で保険料、利用料の負担が増えることは好ましくはないが、

増える費用を全体と利用者との負担のバランスを考えます。税制改正で段階の変更、負担増に対しては、二年間の経過措置が実施されます。制度改正により生活に大きく影響するようなら、例外的に個別の措置を取ることには今後全くなとは言えません。いずれにしても香美町だけが特異な状況ではありません。

家計の収支バランスを崩すな 香美町だけが特別ではない

		請		
			負	
		契		
			約	

12月定例会では、請負契約・請負変更契約
3議案が提案され、それぞれ可決しました。

若松2工区汚水管渠布設工事

契約の相手方

(株)西山工務店

請負金額

1億237万円を、8千

550万円に変更

提案理由

工区内で、公共ますの申請がなく、管渠の一部を削除したこと、舗装面積の減少、工区内で良質の砂が出たため、工事に流用できることによる工事費の減額

問 残土処分が、クリエイトセンターから三川地内になったが詳しい場所と治水上の問題は

答 場所は三川分校と集落前の谷との間です。浜坂土木の管理課と協議しました。

若松・一日市幹線工区汚水管渠布設工事

契約の相手方

株本建設工業(株)香住営業

請負金額

1億6千590万円を1

億8千903万円に変更

提案理由

工期の施工に際し、想定外の転石が出現したため工法の変更による工事費の増額

問 14%近い増額だが、刃先の変更と土質調査の額は

答 刃先の変更は2千170万円。土質調査は簡易な方法で行い65万円かかっています。

問 このような金額変更について住民は疑問をもって
いるが、工事に際しては地域の人たちの意見をもっと聞いて、工事に活用すべきではないのか

答 前の議会でも下浜の工区で同じような状況があったが、今回のことも含めて今後の検討課題にしたいと思っています。

香住浄化センター水処理2期機械・電気設備工事

契約の相手方

三機工業(株)神戸支店

契約金額

2億3千940万円

提案理由

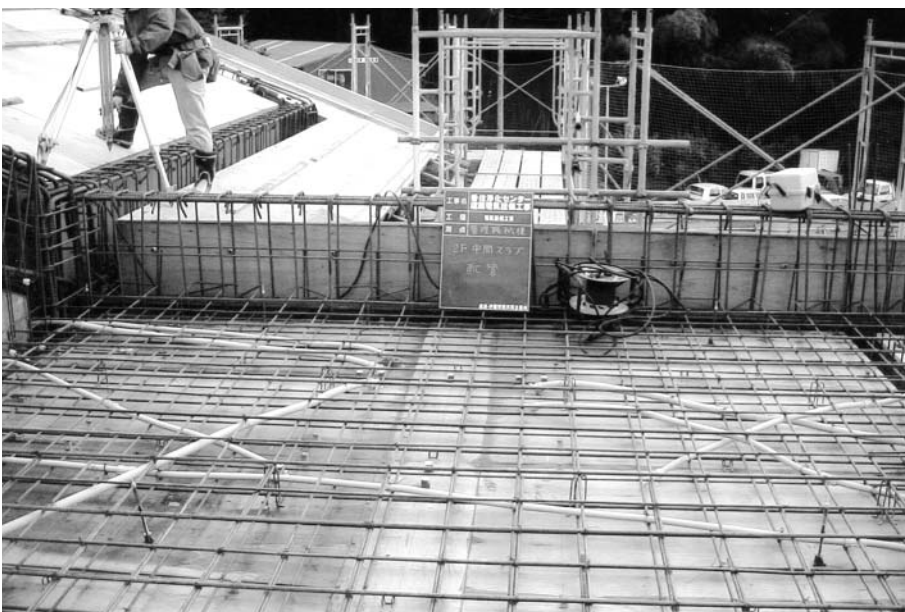
香住処理区の下水道整備促進のため

問 この事業の限度額をいくらと見ていたのか

答 2億3千万円の予定を
していました。

問 水処理関係にあと6億円ぐらいかかるのか

答 約5億5千万円から6億円ぐらいだと思います。



この人、ここにあり



田淵覺男さん 宮脇寿一さん

3分の2が趣旨に賛同して会員になっていただいています。地域の方の協力なくしてこの地の観光はありえません。

観光業以外の方がおられる中で、活動はどのようにされていますか

小代観光協会を訪問し、観光を通して地域活性化を実践されている田淵会長、宮脇事務局長に話を聞かせていただきました。

地域が一体となつての観光協会

小代観光協会の発足、会員構成は

昭和58年の秋から、今のような組織になりました。会員構成は観光に携わっている方が3分の1、あとの



西日本一のナイター設備を誇るミカタスノーパーク

小代区のPR、いかに交流をふやすかということでのイベントの企画、色んな人の知恵を借りながら特産物の開発等です。

また今後の取り組みとしては「体験する・学ぶ・学習する」観光を考えると「グリーンツーリズム」も取り入れていきたいと思っています。

キーワードは交流

尼美会が発足した経緯と活動内容は

地域の活性化を考える中で人口の少ない美方町と人口の過密な尼崎市との交流を会員約30人で、することになりました。

農村と都市が交流することで、お互いにならないものを提供できる。観光にも生かせる。今後も文化と経済の交流をすれば、魅力あるものに発展すると思っています。

今後の観光協会、尼美会の運営は

安全、安心な食と農業と観光ということで、地域民と一緒に出来た組織にしたいと協会員と趣旨に賛同した会員だけでは今後

の活動は限界が来ると思っています。

観光には交通アクセスの整備

交通アクセスの面で苦労がありましたら

小代区の482号線の整備がよくないので早期に車が通れるような整備を望みます。

3区の一休感の醸成

行政に望むことは

村岡区のファームガーデン付近に3区の総合案内所を作っていたら、地区ごとの特産物とか、3区がそれぞれPRできるようにしていただきたいと思います。



おじろスキー場名物ゴンドラ

地域の特産品

(小代区)

特産品名
宅配用スッポン料理
フルコースセット



古来より食されています「すっぽん」にはそれなりの理由があります。

ウナギなどと同じ体力増強のためのスタミナ食として有名ですが、具体的にはビタミンK・ビタミンA・ビタミンEなどが豊富に含まれているからです。ビタミンAはウナギの2倍！ビタミンEは生殖機能を増進させるといわれ、また美容効果のあるコラーゲンも豊富に含まれています。脂肪は動物でありながら植物性です。とっててもヘルシーです。来町されにくい方に手軽に楽しめるセットです。

編集後記

「雪が降れば我が町が潤う」と初雪を喜んだのも、つかの間、連日の大雪に悲鳴を上げています。スキー場では雪に埋もれたリフトもあり、住民は屋根の雪下ろし、雪捨てに追われている毎日です。人的被害は無いものの、家屋の被害が心配です。

除雪費が残りに少なくても、本格的な冬はこれから。行政も住民も厳しい冬に立ち向かう体制を整えなければなりません。

屋根に雪の無い海岸線の地域、業者にも依頼して、雪下ろしをしている地域、合併して我が香美町の広さを実感しているこの頃です。

(N)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 寺川 秀志 |
| 副委員長 | 小林 利明 |
| 委員 | 吉田 範明 |
| | 西坂 秀美 |
| | 岡田 公男 |
| | 前垣 憲一 |
| | 浜上 勇人 |